令和2年2月27日亀岡市教育委員会会議録

- 1 開会 午後 3時20分
閉会 午後 4時15分

2 出席委員

神 先 宏 彰	教育長
関 吉 廣	教育長職務代理者
江 口 昌 道	委員
北 村 真 也	委員
末 永 礼 子	委員
出 藏 裕 子	委員
福 嶋 百合子	委員

3 欠席委員

なし

4 出席事務局職員

片 山 久仁彦	教育部長
國 府 美 幸	次長兼総括指導主事
亀 井 鶴 子	教育総務課長
土 岐 泰 久	学校教育課長
伊豆田 晃 正	社会教育課長
山 崎 浩 久	社会教育課人権教育担当課長
鵜 飼 均	歴史文化財課長兼文化資料館長
平 田 米 蔵	学校給食センター所長
野 澤 孝 子	図書館主幹
海老原 睦	教育研究所長
卷 田 晃 宏	教育総務課総務係長

5 傍聴者

1名

6 議事の概要

(1) 開会

○教育長が開会を宣言。

(2) 前回会議録の承認

令和2年1月28日に開催した定例会の会議録について承認した。

(3) 教育長からの報告

○教育長から以下の報告があった。

◎亀岡市関係

- ・市スポーツ賞の選考会が行われ、各賞の被表彰者を決定した。
- ・育親中学校ブロックの学校規模適正化にかかる取組の事前調整のため、西部4町の自治会長とこん談を行った。
- ・特別支援教育研究大会を開催し、京都府スーパーサポートセンター専門家チームから作業療法士を迎えて講演をしていただいた。
- ・ブルーエンジェルス の管楽器合奏フェスティバル西日本大会出場に際し、練習を見学し激励を行った。
- ・部落解放同盟天川支部荊冠旗開きが行われ出席した。
- ・社会福祉法人亀岡福社会40周年を祝う記念式典に出席した。
- ・市民駅伝競走大会に出席しスターターを務めた。年々出場チーム数が減ってきているのでサポートができればと考えている。
- ・第35回青少年健全育成市民集会に出席し祝辞を述べた。
- ・口丹波私立幼稚園PTA連合会こん親会に市長とともに出席し、意見交換を行った。
- ・東別院町自治会、東別院小学校及び別院中学校のPTA等と学校規模適正化にかかる意見交換を行った。
- ・保津川ライオンズクラブから100万円相当の図書を寄附いただき、贈呈式で目録をいただいた。多くの市民に利用いただけるようにしたい。
- ・蒔田野町心の教育人権研修会が開催され、蒔田野小学校6年生の本格的な狂言の発表や小・中学生の人権作文の朗読もあり、たいへん感銘を受けた。
- ・京都スタジアムのこけら落としとして、京都サンガF.C. 対セレッソ大阪の試合が行われ、約18,000人が参加し盛大に行われた。
- ・木津川市保護司会が東輝中学校を視察され、保護司会と学校が連携している亀岡市の先進事例について交流した。
- ・成人式実行委員会が6月から16回開催されてきたが、最後の実行委員会できん談を行い、ねぎらいの言葉を贈った。
- ・市議会定例会2月特別議会が開会され、議長等の選出と委員会構成等が決定された。
- ・文化財保護委員会を開催し、教育委員会から諮問した亀岡市指定文化財の指定について答申を受けた。
- ・岡山県都市教育長協議会の教育長7名が亀岡川東学園の視察をされ、歓迎の挨拶を行った。
- ・部落解放同盟保津支部新年会に参加した。

- ・小学校教頭会研修会に講師として出向き、教頭の心構えなど講演した。
- ・市PTA家庭教育委員会が開催され、今年度の活動に対するお礼を含め挨拶した。
- ・教育研究所企画運営委員会を開催し挨拶した。
- ・臨時教育委員会を開催し、「児童生徒の入学すべき学校区を指定する規則の一部を改正する規則の一部を改正する規則の制定について」慎重に審議いただき承認いただいた。
- ・京都亀岡ハーフマラソン大会総会、防災会議、交通安全対策協議会がそれぞれ開催され出席した。
- ・いじめ防止対策推進委員会が開催され、小・中学校の状況等が報告された。
- ・自治委員会・こん談会が開催され出席し、東輝・詳徳中学校ブロックで4月から始まる校区見直しについてあらためて周知し、安全対策協力員や見守り活動等に係る協力を要請した。
- ・市議会3月定例会が2月21日から再開した。
- ・英語暗唱大会に亀岡川東学園の1年生1名、2年生1名が参加した。新型コロナウイルスの影響が出てきており、全員マスクを着用し入り口には消毒液が置かれ感染予防に努められていた。
- ・市スポーツ賞表彰式も新型コロナウイルスの影響により、マスク着用で式典が実施された。
- ・今年度最終の校園長会議を開催し、一年を振り返って全体総括を行った。
- ・中部ブロック自治会長等こん談会に市長とともに出席しこん談した。

◎国・府等の関係

- ・令和元年度第3回京都府都市教育長協議会が南丹市で開催され、令和2年度・3年度に亀岡市が京都府と近畿の都市教育長協議会の会長市になることが紹介された。
- ・京都府市町村教育委員連合会 三役・幹事・教育長部会合同会議が開催され、今年度の総括と決算報告、令和2年度の事業計画と予算が報告された。
- ・南丹教育局管内教育長会議が南丹教育局で開催され、各担当課から今年度の総括や令和2年度の事業説明がされた。
- ・南丹教育局管内校園長会議が2月27日に開催されている。

○教育長からの報告を受けて、委員から次の意見があった。

<追加報告>

出 蔵 委 員 東輝中学校で開催された志の作文発表に末永委員とともに出席し、1年生代表12名の発表を聞いた。素晴らしい発表が行われ講評させていただき、自分自身の学びにもなった。

(4) 議 事

議案番号	件 名
第 2 4 号議案	亀岡市指定文化財候補の指定について

○第 2 4 号議案について教育部長が議案説明を行った。

第 2 4 号議案は、「愛宕神社木造師子狛犬」等、4 件の文化財を亀岡市指定文化財に指定するものである。令和元年 1 2 月 2 4 日の教育委員会において、亀岡市文化財保護委員会に諮問することを承認いただき、令和 2 年 2 月 1 3 日付けで文化財保護委員会から亀岡市指定文化財として指定することが適当であると認めるとの答申をいただいたものである。それぞれ貴重な資料・行事として文化財に指定し、保存・継承していきたいと考えている。

○説明を受け、委員から次の意見があった。

江 口 委 員 指定することに異論はない。「サンヤレ」はカタカナ表記なのか。

歴史文化財課長 一般的な行事名については漢字表記するが、地域独特の行事については地域性を出すため、カタカナ表記にしている。漢字表記を併記する場合もあるが、サンヤレには漢字が見当たらない。

第 2 4 号議案について、原案どおり承認した。

(5) 報告事項

- ① 京都府いじめ調査結果について
- ② 令和元年度卒業式の日程等について
- ③ ふるさと体験学習事業“京都亀岡 保津川下り” 申込み状況について
- ④ 「子どものための A t o Z」について

○課長等からの報告を受けて、委員から次の質問・意見があった。

< 京都府いじめ調査結果について >

江 口 委 員 特に新しい事例は出てきていないのか。

教育部次長 京都府の結果をみると特段新しいことはない。小学校の認知件数は若干減っているが、数字だけを見てよくなっているとは言えない。SNS のトラブルは、大人の知らないところで起こっている事象もあるのではないかと考えられる。

- 末永委員 京都府は従来から全国的にも件数が多いが、見過ごさないということから、信頼関係を作り子どもの声に耳を傾けている結果であり、今後も大事にしてほしい。また、調査結果の取扱いや保管をめぐる、他府県では粗雑な扱いが報道されていた。子どもの想いをしっかり受け止めていく姿勢をこれからも大事にしてほしい。
- 北村委員 SNSは見えないし、どこまで介入できるのかという問題もある。それぞれの学校から実態をヒアリングされているのか。また、問題が起こった時の対応のガイドラインは存在するのか。担任や担当の先生が対応するだけではなく、ある程度マニュアル化が必要で、ガイドラインに沿って粛々と対応していくことが大事ではないかと思っている。
- 教育部次長 SNSについてのトラブルは学校からも聞いている。悪口を書かれたとか、返信がなかったということから嫌がらせをされている、仲間外れにされているというようなトラブルを聞いている。当事者の話を丁寧に聞き、関係性を解きほぐしながら学校には丁寧に対応していただいている。ガイドラインについては、亀岡市としても各学校においても、それぞれ「いじめ防止基本方針」を作成している。その中で、いじめが起こった時には、担任だけでなく組織として対応していくことや未然防止についての確認もしている。
- 関職務代理者 SNSの危険性については、持たせる親もしっかり知っておく必要がある。PTAと連携した研修をしている学校はどれぐらいあるのか。教師とPTAの両方が学ぶ場があればいいと思う。
- 教育部次長 研修をしている学校の数は把握していないが、子どもたちの世界、子どものことを理解する研修のテーマとして、SNSやネットトラブルについてはよく取り上げられている。自分の子どもが被害者や加害者になる恐れがあるということについて、専門家から話を聞くような研修会を開催している学校はいくつかある。
- 江口委員 NTTドコモが開催しているスマホ安全教室が一昨年前に育親中学校から始まって、今年度7校ぐらいに広まっている。これも一つのツールとして学校で取組されていることである。
- 教育長 先ほど報告した蔦田野町心の教育人権研修会でも「SNSなどの安全利用について」というテーマで亀岡警察署

からの講演があった。小・中学校でも防犯教室などにおいて、かなり浸透してきている。

<「子どものためのA t o Z」について>

江口委員 教育研究所長	個人的には湯の花温泉や桜石があってもいいかと思う。他にもいろいろあることは重々承知している。AからZに一つずつ当てはめているため漏れているものもある。
関職務代理者 末永委員	同じような意見だが、保津川を開削した角倉了以もいる。田中源太郎もいる。今の時期だとスタジアムを入れてもいいと思うが、まずはこういう資料を持つ意味は大きい。手に取ってみたいくなる形で6年生全員に行きわたるということ、亀岡について時間的、空間的に知るということが愛着の心を育てる第一歩につながる意味のある取組だと思う。子どもたちへどのように声かけして配布するのかなど、6年の先生へのアドバイスを添えて、活かせるような形で配布していただきたいと思う。
教 育 長	子どもたちに他にどんなものがあるかを考えるきっかけになる。今後は、いろはバージョンなど増やしていくこともできる。
末永委員 北村委員	それぞれの校区のA t o Zなどもできるのではないか。今こうして教育委員の中でもいろいろ意見が出てくる。編集委員を公募したり、子どもたちも参加させてみんなで議論しながら毎年変えて作成していくのも一つだと思う。予算的なこともあると思うが、検討していただきたい。

(6) 閉会

○教育長が閉会を宣言

以 上